登山者等の位置検知システム公開実証試験の概要

■目的

実用化に向けて調査検討を行っている登山者等位置検知システムについて、試験用に構築した狭帯域デジタル方式のモデルシステムを使用して、実環境における伝搬特性試験及びシステムの機能試験等を実施し、システムの実現性・有用性を検証する。

■実施日時

平成26年12月4日(木) 14時30分~16時00分

■公開実証試験会場

会場 医王山スポーツセンター 本館 2 階小研修室

(石川県金沢市田島町よ27甲 TEL:076-229-1591)

試験フィールド 医王山スポーツセンター周辺の山岳エリア



この地図は国土地画味長の本語を得て、同味特行の電子地形図(9イル)を複製したものである。 (本部番号 平26情報 第408号)

■タイムスケジュール

14:30 開始

主催者挨拶 北陸総合通信局長 星 克明調査検討会座長挨拶 富山県立大学教授 岡田 敏美

14:40 概要説明

- 1 登山者等位置検知システムの概要
- 2 実証試験装置
- 3 実証試験の説明
- 4 その他

15:00 実証試験

- 1 通常利用シーン
- 2 緊急利用シーン
- 3 連携利用シーン

15:40 質疑応答

16:00 公開実証試験終了

■実証試験の概要

○通常利用シーン

山小屋等において、あらかじめ ID を登録した登山者の位置を把握し見守りをおこなう。

■ 山小屋に見たてた医王山スポーツセンターに設置した検知者端末から ID を指定して 位置情報送信要求コマンドを送信し、コマンドにより起動した該当の登山者端末か ら送信された位置情報により登山者の位置が地図上に表示されることを確認する。



○緊急利用シーン

登山者にトラブルが発生した場合において、登山者自らの意思による通報或いは捜索者 等のリモートコントロールにより登山者の位置を把握する。

- 登山者が自らの操作で位置情報を送出し、山小屋等に設置された検知者端末に位置 が表示されることを確認する。
- また、不意の事故等で登山者が操作できない場合に捜索隊等の検知者端末から位置 情報送信要求コマンドにより登山者の位置が表示されることを確認する。
- この場合、登山者端末に蓄積された位置情報により軌跡を表示させることができる。 (登山者の動きがなくなったことなどを把握)



○連携利用シーン

起伏の多い山間地では電波が遮られ間近の登山者の位置が検知できない場合も想定されるため、通常 2-3 k m間隔で配置されている隣接の山小屋で連携し相互補完を行う。

■ 近くの山小屋で位置検知ができない場合でも、遠方の山小屋から検知できることを 確認し、相互補完が有効性を検証する。



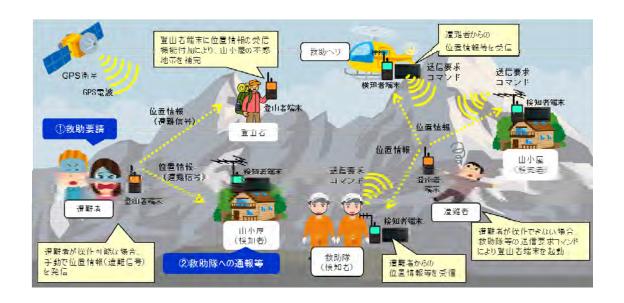
■その他

「150MHz 帯の電波を使用する登山者等の位置検知システムに関する調査検討会」調査検討会URL:

http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/resarch/150m_ichikenchi/index.html

150MHz 帯の電波を使用する登山者等の位置検知システム

遭難した登山者の探索や狩猟における仲間のハンターの位置把握等、山間地における人の位置検知を行うことを目的とするシステム。 山岳での伝搬特性に優れた VHF帯 (150MHz帯)の電波を使用する特定小電力無線局 (免許不要局)としての実用化を目指している。





■公開試験会場案内(医王山スポーツセンター)

施設配置図



■交通機関時刻表

北陸鉄道バス 金沢駅6番乗り場

13 香林坊 経由 医王山スポーツセンター前 ゆき

金沢駅東口	医王山スポーツセンター前
(発)	(着)
13:15	14:09
15:58	16:52

13 香林坊 経由 金沢駅 ゆき

医王山スポーツセンター前	金沢駅東口
(発)	(着)
14:12	15:06
17:03	17:57